



南部広域行政組合議会議員

東部清掃組合と南部広域行政事務組合が統廃合したため、新たに組合議会議員2名を選出することになりました。選挙の結果、下記の議員が指名推薦されました。

與儀 清 議員 大城 好弘 議員

選挙管理委員・補充員

議長の指名推薦による。

選挙管理委員 嘉手苺 右和 氏 糸数 善昭 氏 仲宗根 好美 氏 瀬長 庄助 氏

補充員 比屋根 和光 氏 外間 正弘 氏 中谷 悟 氏 宮平 良信 氏

米軍MV22オスプレイの部品落下事故に関する意見書・抗議決議

去る2月9日午前9時ごろ、うるま市伊計島の大泊ビーチ近くで、米軍普天間飛行場に所属するMV22オスプレイの部品が発見された。部品は縦約70センチメートル、横約100センチメートル、重さ約13キログラムの半円形で、ビーチの従業員によって発見された。

部品が発見されたビーチは観光地となっており、近くには最盛期を迎えつつあるモズクの養殖場もあることから一歩間違えれば漁業関係者を始め住民及び観光客を巻き込む重大な事故につながりかねず、地元住民からは怒りと不安の声が上がっている。さらに、部品落下の事実に関して米軍からの通知がなかったことについては、隠蔽の意図があったと疑わざるを得ない。

本町議会は、今回の事故を含めこの1年ほどの間にMV22オスプレイ及びCH53E大型輸送ヘリコプター等の墜落・不時着炎上、部品落下事故等が相次いで発生する極めて異常な事態に対して、何度も意見書・抗議決議を可決してきた。それにもかかわらず、改善の兆しも見られないまま訓練を繰り返す県民軽視の米軍の姿勢は断じて容認できず、在沖米海兵隊の撤退を求める声が大きくなっている。沖縄は植民地ではない。米軍は沖縄県の要請や本町議会の始め県内議会の決議を厳重に受けとめるべきである。

これ以上、町民を基地あるが故の恐怖にさらすことがあってはならず、米軍及び日米両政府においては、事態が一向に改善されない現状を危機感を持って受けとめ、町民の懸念の払拭に向け全力を挙げて取り組むべきである。

よって、本町議会は、町民の生命・財産を守る立場から、オスプレイの部品落下事故に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

1. 事故の原因及び経緯を徹底的に検証し、その結果を速やかに県民に明らかにするとともに、具体的な事故防止策を講じること。
2. 保育園・学校・病院・住宅など民間地上空の普天間飛行場の米軍機の飛行・訓練を中止すること。
3. 直ちに普天間飛行場の運用を停止すること。
4. 日米地位協定を抜本的に改定すること。特に、「日米地位協定の実施に伴う航空法の特例に関する法律」を廃止し、日本の航空法を遵守すること。
5. 在沖米海兵隊を沖縄から早期に国外・県外に移転すること。
6. 日米両政府においては、米軍関係の事件・事故の改善に向け、当事者として責任を持って対処すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年3月26日

西原町議会

特集 Vol.12

どいつなる西原町の財政

事業廃止の新聞報道相次ぐ…その真意は？

厳しい財政状況下にある本町は、財政再建に向けて大胆な行政改革を進めていかなければならない。そんな中、教育・福祉行政についての取り組みの廃止が新聞各社で報じられた。また、去る平成30年4月10日に「財務状況把握の結果概要に基づいた西原町の財政状況について」沖繩総合事務局財務部理財課（課長 新垣嘉樹）の説明会があった。

この説明会は、西原町からの「職員や議員などにも広く説明することで、財政運営に役立てたい」との要望に応じて開催されたもの。それを踏まえて、町財政やそれに関する新聞報道について、議会として説明したい。

沖繩総合事務局財務部による西原町の財政状況

一〇七億四千万円 ＝町の実質「借金」＝

現時点での西原町の実質借金額は、一〇七億四千万円で、西原町の人口を3万5千人とすると、約30万6千857円／一人当たりとなる。

いわゆる、債務高水準（借入過多）の状況である。その原因として、「庁舎等複合施設事業等のための地方債（借入れ金）の増額や

国保事業の累積赤字拡大による有利子負債（銀行などからの借入金れに対して、金利を付けて返済しなければならぬもの）の利息相当額の増額」などをあげている。

45年以上

町の「借金返済」

理財課の説明では、西原町の債務償還能力（家計に例えると、ローンが給与の何ヶ月分

あるか）は、地方公共団体における平均的な償還年数は、15年と言われています。それが、本町では、45年以上かかるというのである。

本町の返済に充てる財源は、約2億3千万円／年で、気が遠くなる話である。ただし、返済期間が45年の借入金はないため、実際はさらに返済していかなければならない。

カルテによる診断

＝結果と課題＝

結果

【兆候】

- ・ いつも資金が不足している。
- ・ 歳出に見合った歳入が得られず、積み立てができない。

【財務上の問題】

- ・ 収支の悪化。
- ・ 積立金の減少。

課題

【改善策】

- ・ 地方税等聴取率の向上。
- ・ 自己収入の拡大。
- ・ 人員削減、民間委託化。
- ・ PFI手法の活用。

*PFIとは、公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の持つ経営ノウハウや資金を活用する事低コスト且つ良質なサービスを提供する新しい手法。